

新雪マラソン 第30回記念大会盛大に開催



広報しんざ

第3号

発行日
平成21年3月10日発行者
新座地区振興会

小雪舞う1月2日、恒例の新座ジョギング新雪マラソンが
土佐礼子選手を招き盛大に開催されました。



賀詞交換会の様子

新年のあいさつ

柳 邦男
新座地区振興会長

春の気配を感じられるこの頃でございます。新座地区的皆様には常日頃から振興会の事業にご参加ご協力いただきましてありがとうございます。

平成20年度の事業も第1回市民体育大会参加をはじめ、振興会主催事業、各専門委員会の活動、そして市県等の助成を受け、みだれ川の飯山線との交差地の改良、十中前の急傾斜地崩落防止工事など念願でありました大事業を実施することができ、地域内の環境も改善されてまいりました。

しかし、今世界全体を覆う不況の波でこの地域も厳しい状況ですが嘆いてばかりいられません。「福い転じて福となる」しつかり目標を定め一生懸命生きましょう。これから明日が開けます。

新雪マラソン 第30回記念大会



土佐礼子さんからのお礼の手紙

新雪マラソンではお世話になりました。温かく迎えていただき感謝しております。雪の中を走るのは楽しく、良い年のスタートが切れたと思っています。3月は東京マラソンに出席する予定です。応援よろしくお願いします。

(市陸上競技協会会長 角山俊文氏の紹介)

おいしいとん汁ができました



田口市長、土佐さんと一緒に餅つき



地区民のボランティアでこの大会を世界に売り出すことができたと思っています。今後は、これまで長年にわたりご苦労された人たちから若い世代に引き継ぎ、皆で力を合わせて

第30回という節目の大会が事故もなく大成功のうちに終了したことをうれしく思っています。
市陸上協会のご尽力で土佐礼子選手を呼ぶことができ、記念大会も大いに盛り上りました。

思えば、30年前手書きのプログラムで始めたジョギングマラソンが、まさか世界的な選手を呼べるとは思っていませんでした。ひとえに皆様方、地域の多くの方々の協力があつたからここまで来られました。新座

が9月14日、振興会主催で新座コミニティセンターで開催されました。当日は128名(内来賓8名)の参加があり楽しい一日を過ごしていただきました。これからも元気な人生をおくってください。
社会の高齢化に伴い新座地区内のお年寄りも増えています。現在の会場も満席になりつつあります。運営方法も今後検討していく必要があります。



実行委員長あいさつ

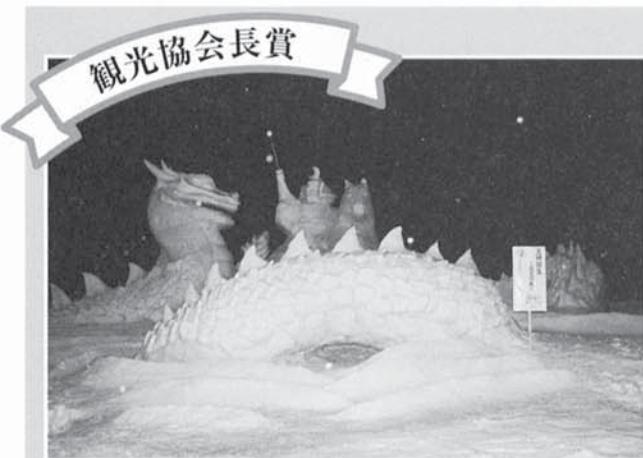
大久保善雄

敬老会

第30回という節目の大会が事故もなく大成功のうちに終了したことをうれしく思っています。

第60回 雪の芸術作品展

雪の芸術作品展



新座地区内では2団体が毎年雪像を作っています。今年もアウト・ドア・ファミリー・4クラブ（新座第四）と本町七丁目三和町町内会が入賞を目指して奮闘しました。

極端な小雪でしたが、各団体共にアイデアを凝らし素晴らしい作品を作り上げました。結果はアウト・ドア・ファミリー・4クラブが観光協会長賞を受賞。本町七丁目三和町町内会は市議会議長賞を受賞しました。以下はそれぞれの作品と各代表者のコメントです。



アウト・ドア・ファミリー・4クラブ

「天神回生—龍谷の乱—」

今回10回目の雪の芸術作品挑戦となります。「新座地区の融和・発展と会員の親睦」を祈念して四区有志を中心と和気あいあいと8日間、初めは小雪と最終日は雨風の中、作品を作り上げました。

今年は二区から2人の仲間を迎えながら充実したスタッフで当日の「上がり酒」も楽しみに充実した日々を過ごしました。来年も入賞目指して頑張りたいと思います。

雪像製作実行委員長 小林敏夫



新座の雪だるまetc.

アウト・ドア・ファミリー・4クラブ

「天神回生—龍谷の乱—」

これまでの空を飛ばす技法を使った作品やジブリの路線から方向転換し、ギリシャ神話をモチーフにしてパルテノン神殿とメドウサをつくりました。苦労したところは柱と梁です。町内会の皆で力を合わせ9日間延べ265人で作り上げました。賞は後からついてくるものと思っています。

雪像製作担当チーフ 保坂 豊

本町七丁目三和町 町内会

十日町の新しい響 パルテノンのメドウサ

これまでの空を飛ばす技法を使った作品やジブリの路線から方向転換し、ギリシャ神話をモチーフにしてパルテノン神殿とメドウサをつくりました。苦労したところは柱と梁です。町内会の皆で力を合わせ9日間延べ265人で作り上げました。賞は後からついてくるものと思っています。

事業報告

今年度は当地域内で懸案となっていた二つの事業が市から認められました。

一つ目は、みだれ川の改修事業です。本町七丁目のJR飯山線線路下の水路が大雨になると溢れて水上がりの被害が出ていたものが改善される見込みです。

二つ目は、十日町中学校北西側の（新座第二）急傾斜地の改修工事です。

住民がより安心して生活できるようになります。

（写真は新座第一の現場です。）



やまもと食堂（本町7丁目）
店主 山本一雄
電話 752-2471
出前もやってます！
地元のお店紹介 コー十一

「お肉やさん
のとんかつらあ
めん」の看板が
目印の「やまも
と食堂」。「とん
かつラーメン」
が出てくるのか
と思いきや、実
は肉屋さんが経
営している食堂
です。中に入る
と感じのいい店
内とその奥に
ゆったりと楽しめる小上がりもあ
り、家族や小グループの集まりに
もつてこいです。

店は約40年前に創業。今は2代目
のこと。気さくな店主のおすすめ
メニューは、「とんかつ」。
「定食」。味よし、ボリュームあり
で、価格も630円とリーズナブル！
また、食べ応えある「特大とんかつ」
と「スタミナラーメン」も人気です。
営業時間は11時～14時、17時～21時
☆定休日は日曜日



「お肉やさん
のとんかつらあ
めん」の看板が
目印の「やまも
と食堂」。「とん
かつラーメン」
が出てくるのか
と思いきや、実
は肉屋さんが経
営している食堂
です。中に入る
と感じのいい店
内とその奥に
ゆったりと楽しめる小上がりもあ
り、家族や小グループの集まりに
もつてこいです。

練習は毎週金曜日の夜、十日町中学校の体育館で他の5チームと合同で楽しくやっています。最近では東小の保護者や他のチームの方も遠征に来ていただいたら、交流も盛んになりました。私は新座第四6名（内、男一人は私です）三和町1名の7人でチームを組んでいます。私たちも仲間とのテント張り、自炊でのご飯作り、ビンゴゲーム大会、テント内の宿泊など、子ども達にはかげがえのない体験ができたものと思います。

二つ目は、地元の伝統文化を継承する目的として、「ほんやら洞」を行いました。内容は、雪の灯籠づくり、トン汁・餅・お汁粉など、小正月ならではのご馳走を大人たちと一緒に堪能した後、町内を鳥追いの唄を歌しながら歩きました。この思い出は次の世代に必ず引き継がれるものと信じております。最後にこれらの活動を通じて私自身も大変貴重な経験をさせていただきました。

（○）



現代雪まつり発祥の地として第60回雪まつりが予定通り開催されました。日曜日にあちこちの広場を見学してきました。関係者の意気込みは素晴らしいと思いました。「おらほうは雪が少なくたってやらんだし、豪雪だつてやらんだぜ」と言っておられた方がいました。十日町人の雪まつりに対するこだわりに何かとてつもない力を感じます。

十日町は元気がないとよく耳にしますが、この雪まつりに対する意気込みを思うと元気な十日町も夢ではないと思いながら帰つてきました。ご苦労さまで一度遊びに来てみてください。

編集後記



鳥追いの唄を歌いました

地域の活動団体紹介

雪の里子ども会（新座第四）

雪の里子ども会・育成会

樋口 隆雄

チーム《スティングス》

代表 高橋洋一



ソフトバレーつて何？と思う方も少なくないと

思います。一言で言えばビーチ

ボールよりも少し硬いゴムボーラーで行う4人制のバレーボールのことです。

私たち雪の里子ども会はアウトドア・ア・アミリー・4クラブ（ODF4クラブ）の協力のもとに子ども達の健全な育成を目的とした活動として年間二つの大きな事業に取組んできました。

一つ目は、自然とのふれあい、仲間との協調性、大自然の中で生活することへの強さを養うことのできる夏期キャンプです。活動としては、班の仲間とのテント張り、自炊でのご飯作り、ビンゴゲーム大会、テント内の宿泊など、子ども達にはかけがえのない体験ができたものと思います。

二つ目は、地元の伝統文化を継承する目的として、「ほんやら洞」を行いました。内容は、雪の灯籠づくり、トン汁・餅・お汁粉など、小正月ならではのご馳走を大人たちと一緒に堪能した後、町内を鳥追いの唄を歌しながら歩きました。この思い出は次の世代に必ず引き継がれるものと信じております。最後にこれらの活動を通じて私自身も大変貴重な経験をさせていただきました。

（○）